

令和 4 年度 事業計画の概要

令和 4 年 3 月 2 8 日

東日本大震災・原子力災害伝承館

■ 基本的運営方針

- ・ 新型コロナ感染対策を十分に実施
- ・ 複合災害の正確な情報発信と風化の防止
- ・ 魅力ある企画展や地域交流イベントを実施
- ・ 地域の皆様により身近に、より愛される施設となる取り組みを推進
- ・ 効果的な広報活動

I 公益目的事業

1 資料の収集、保存、展示及び利用

(1) 資料の収集と保存

- ・ 震災関連資料の収集（中通りや会津等の市町村等と連携）と保存方法の検討
- ・ 震災体験手記の収集

(2) 資料の展示及び利用

- ・ 常設展示の充実（企画展示室を活用した特別展示）
- ・ 資料閲覧室の充実
- ・ 海外からの来館者への対応の充実（タブレット多言語化範囲の拡充）
- ・ 企画展の開催
 - ▷ 浜通りの地理的データや、地震・津波のメカニズム等に焦点を当てた企画展（2 回程度）
- ・ 移動展示の実施（首都圏その他地方）

(3) イベントの企画と実施

① 地域交流等 イベント〔10 月～11 月頃〕

- ▷ 子供たちの交流や地元で活動する人物等によるトークセッション

② 3. 11 メモリアルイベント〔3 月〕

- ▷ 収集資料や研究成果を生かして複合災害の教訓を広域的に伝える
- ▷ 他の被災県等との連携した内容

③ その他イベント

- ▷ 夏休み企画（学芸員による説明ツアー等想定）

(4) 語り部口演

- ・ 語り部の口演技術の向上（定期的な研修会の開催、アンケート結果のフィードバック）

2 研修

(1) 一般研修プログラム

- ・ 安定的継続
- ・ プログラム内容の検討(フィールドワークの行程、ワークショップの講師等)

(2) 専門研修プログラム

下記系統を軸に構築

①オムニバス研修

常任研究員が中心となり包括的に学ぶことができるプログラム

②専門講座

上級研究員が各研究テーマに沿った講座を年間4回程度開設し、各回で受講者を募る形式

③企画募集型（ツアーパッケージ型）研修

各研究員が研修パッケージを企画し参加者を募集する形式

3 調査・研究

- ・ 設定した研究テーマについて、館長、上級研究員及び客員研究員からなる研究班による研究活動を継続
- ・ 館長、上級研究員の指導の下、常任研究員が各自テーマを設定の上、研究を推進
- ・ 研究成果の発表（研究者による成果発表を随時開催）
- ・ 常任研究員の更なる採用を検討

4 その他

(1) 広報活動

- ・ 伝承館 HP の充実、テレビ・ラジオ CM、新聞広告、SNS を活用した PR、取材等による情報発信、
- ・ 広報、広告の各取組みを生かすべく、専門事業者による分析

(2) 誘客活動

- ・ 旅行会社及び学校等への営業
- ・ モニターツアー（教育関係、旅行代理店関係者対象）

(3) 旅行事業者等との連携

旅行会社と連携してツアーの商品化及び実施を後押しする手法を検討

II 収益事業

1 オリジナルグッズの制作、販売

防災グッズや館内ガイドブック等の製作と販売及び販路の開拓

2 販売受託事業

震災記録誌や震災をテーマとした絵本等の販売継続